

令和4年3月9日
商工政策課

令和3年度 高校生の進路に関するアンケート調査 結果報告書

1 目的

本市管内高校生の就業意識や地元意識を把握し、市が取り組む社会減対策、企業の人材確保対策等に活用するため

2 調査期間

令和3年12月1日～令和3年12月25日

3 調査対象（回収実績）

合計 1,245人（回収率95%）

(1) 日南高校 328人（回収率95.9%）

1年生 93人（普通科 58人、普通科探究科学コース 35人）

2年生 110人（普通科 70人、普通科探究科学コース 40人）

3年生 125人（普通科 88人、普通科探究科学コース 37人）

(2) 日南振徳高校 499人（回収率96.1%）

1年生 153人（地域農業科 14人、機械科 30人、電気科 26人、商業科 27人、
経営情報科 36人、福祉科 20人）

2年生 159人（地域農業科 27人、機械科 24人、電気科 30人、商業科 25人、
経営情報科 37人、福祉科 16人）

3年生 187人（地域農業科 35人、機械科 37人、電気科 34人、商業科 24人、
経営情報科 36人、福祉科 21人）

(3) 日南学園高校 418人（回収率93.1%）

1年生 139人（普通科 72人、特進科 9人、理数科 17人、調理科 16人、看護科 25人）

2年生 147人（普通科 74人、特進科 12人、理数科 19人、調理科 20人、看護科 22人）

3年生 132人（普通科 68人、特進科 12人、理数科 19人、調理科 9人、看護科 24人）

4 調査方法

調査対象高校に調査用紙を配布し、調査用紙に直接記入後回収

5 担当課所感

今回は、進学希望者と就職希望者それぞれの意識を比較するために、それぞれ分けて集計をおこなった。所感は次のとおり。

(1) 進学希望者

ア 将来希望する職種は、「決めていない」を除くと、「医療・福祉業」「教育・学習支援」や「公務員」が多かった。(図3参照)

イ 市内に大学や短大がないため、65%が県内又は県外を希望している。(図4、図7参照)

ウ 将来希望する企業の条件として、「給料」や「休暇」などの物的観点を求める一方で、「安定」「自分を成長させてくれる」などの精神的観点も重要視している。

エ 家族内での進路相談では「母親」がほとんどであった。進路に最も影響するアドバイスは、「母親」「先生」が多かった。(図15、図16参照)

オ 進路決定に役立つ取組として、「オープンキャンパスへの参加」、「担任や進路指導の先生への相談」、「自分自身での情報収集(インターネット)」の次に「卒業生からの話」が多かった。将来、地元に帰りたいと思わせる動機づけとして、市内企業で働いている大卒者(卒業生)の体験談(進学+地元就職 ※働く+暮らし)を聞く機会を作る取組も必要である。(図17参照)

(2) 就職希望者

ア 将来希望する職種は、「建設業・製造業」や「電気・ガス・水道業」が多かった。(図3参照)

イ 県内又は県外地域を希望する理由として、「就職したい業種・業務内容の企業」や「給料・福利厚生が充実した企業」「一度日南を出てみたいから」を挙げている。(図8参照)

ウ 将来希望する企業の条件として、「給料」や「安定」、「休暇」を重要視している。(図14参照)他県と比較し給与水準の低い本県にあって、社員が安心して働くためには、給与のみならず、福利厚生制度の充実などの働き方改革を進めるとともに、中長期的なキャリアビジョン(役職や収入等)を示すなど、働きやすい環境づくりが必要である。(図14参照)

エ 家族内での進路相談では「母親」への相談が最も多く、進路に最も影響するアドバイスは、「母親」「先生」が多かった。市内就職率を高めるためには、母親等の家族や、高校の進路指導等の先生に企業を知ってもらう機会の充実を更に図る必要がある。(図15、図16参照)

オ 進路決定に役立つ取組として、「会社訪問や職場体験への参加」、「担任や進路指導の先生への相談」、「職業講話」、「卒業生からの話」が多かった。(2)オの取組同様、企業と学校とのつながりを強化する取組が重要であることから、企業と学校の接点づくりを行政がしっかりと支援することが重要である。(図18参照)

6 アンケート結果について

(1) 進路を決めた時期

進学希望者は、「高校入学期前」が25%と最も高く、次いで「3年生になってから」が21%であった。

また、就職希望者は、「3年生になってから」が27%と最も高く、次いで「高校入学期前から」、「2年生のとき」が20%であった。

図1 進路を決めた時期（進学希望者） n=819

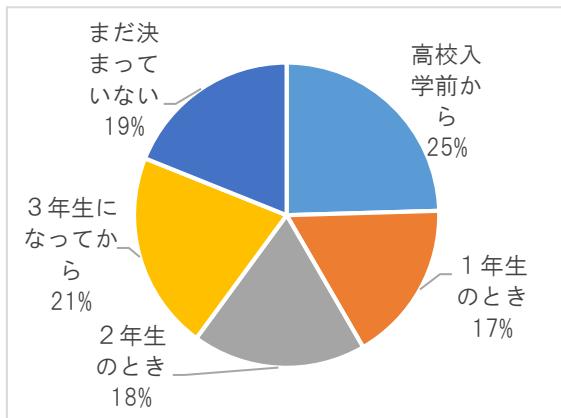
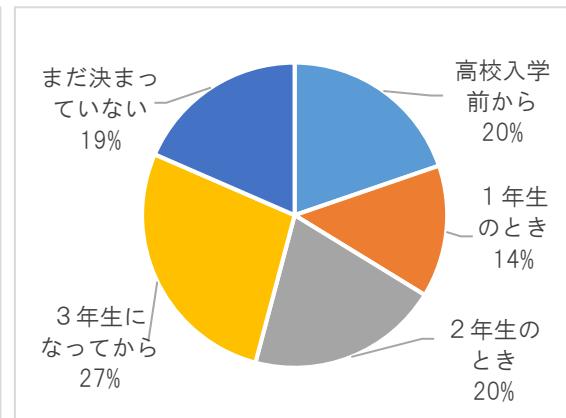


図2 進路を決めた時期（就職希望者） n=314



(2) 将来希望する職種（仕事内容）

進学希望者は、「医療・福祉業」が248件で最も多く、次いで「決めていない（わからない）」が193件、「教育・学習支援業」「公務員」が80件であった。

就職希望者は、「建設業・製造業」が72件で最も多く、次いで「決めていない（わからない）」が62件、「電気・ガス・水道業」が50件であった。

図3 将来希望する職種

	職種	進学	就職
1	農業・林業・水産業	14	9
2	建設業・製造業	30	72
3	電気・ガス・水道業	8	50
4	運輸・郵送業	2	6
5	卸・小売業	3	6
6	金融・保険業	2	7
7	情報通信業（IT含む）	50	15
8	教育・学習支援業	80	1
9	不動産業	2	0

10	宿泊・飲食サービス業	7	12
11	介護・医療・福祉業	248	21
12	美容関係	22	2
13	観光業	11	1
14	芸能・マスコミ関係	16	0
15	公務員	80	33
16	その他	62	22
17	決めていない（わからない）	193	62

(3) 高校卒業後に就職又は進学する（希望）地域

進学希望者は、「宮崎県外」が364件で最も多く、次いで「決めていない（わからない）」が200件、「宮崎県内」が165件、「日南市内」が88件であった。

就職希望者は、「宮崎県外」が107件で最も多く、次いで「決めていない（わからない）」が81件、「日南市内」が68件、「宮崎県内」が61件であった。

図4 就職及び進学の希望地域（進学）

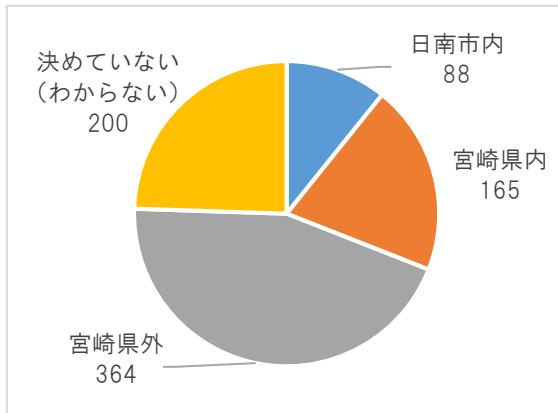
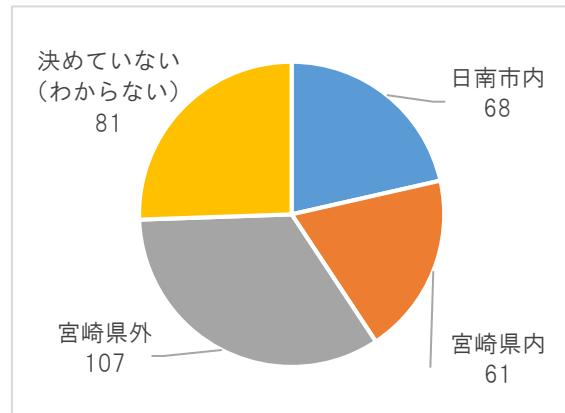


図5 就職及び進学の希望地域（就職）

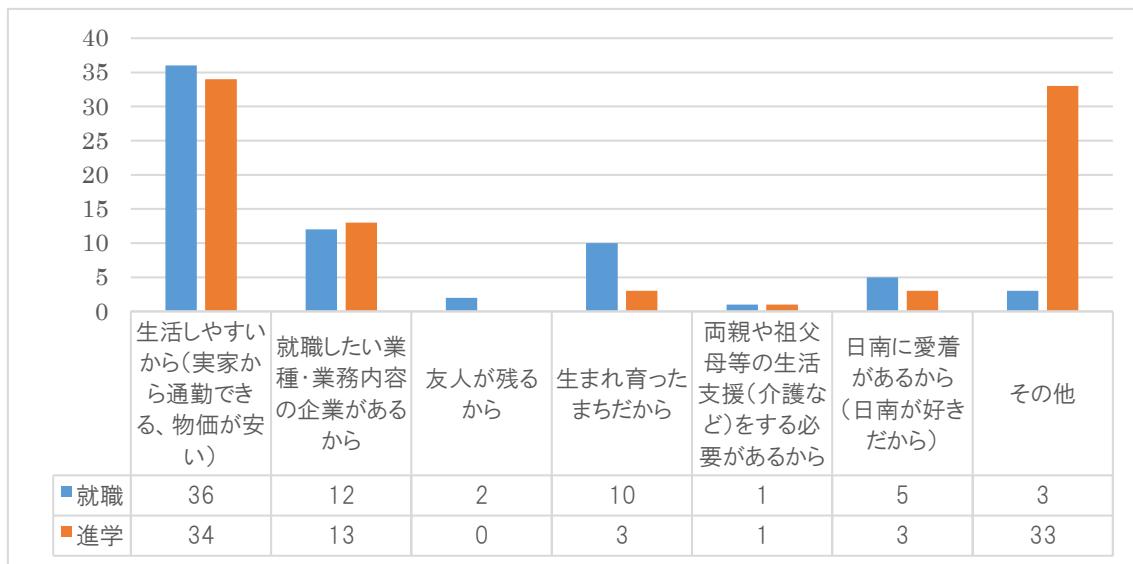


(4) 高校卒業後に「日南市内」への就職又は進学を希望する理由

就職希望者は、「生活がしやすいから（実家から通勤できる、物価が安い）」が最も多く、次いで「就職したい業種・業務内容の企業があるから」であった。

進学希望者は「生活がしやすいから（実家から通勤できる、物価が安い）」が最も多かった。次いで「その他」も多かったが、内訳として70%以上は日南学園高校看護科の「専攻科に進学するから」等が挙げられた。

図6 日南市内を希望する理由



(5) 高校卒業後に「宮崎県内」、「宮崎県外」への就職又は進学を希望する理由（3つ選択）

進学希望者は、「行きたい学校があるから」が457件と最も多く、次いで「一人暮らししたいから」が205件、「公共交通が整備され、生活しやすそうだから」が188件と続いている。

就職希望者は、「就職したい業種・業務内容の企業があるから」が115件と最も多く、次いで「給料・福利厚生が充実した企業があるから」が91件、「一度日南から出てみたいから」が78件と続いている。

図7 宮崎県内、宮崎県外の地域を希望する理由（進学希望者）

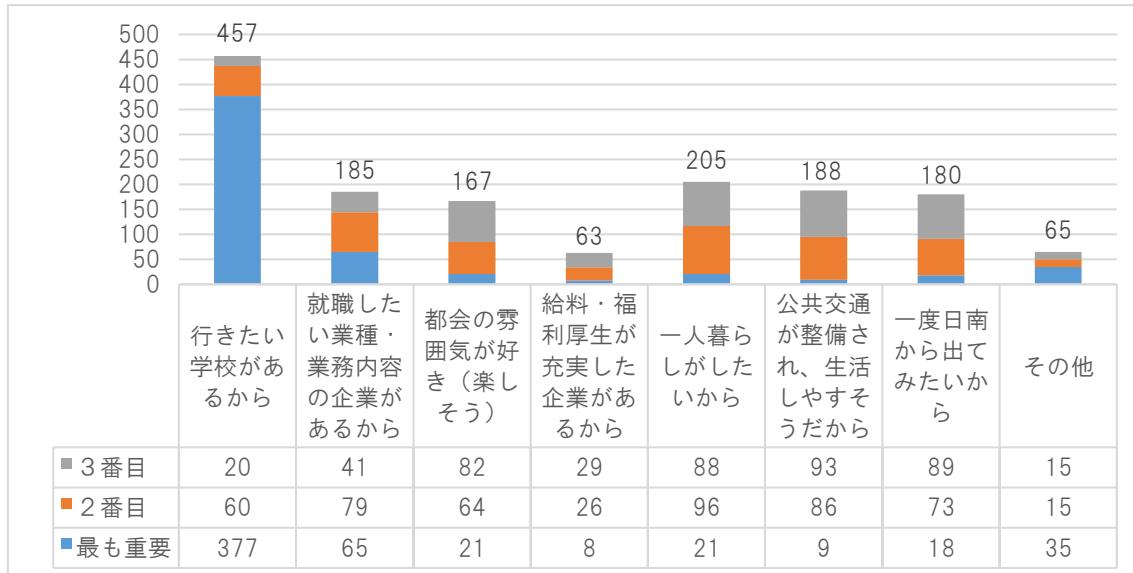
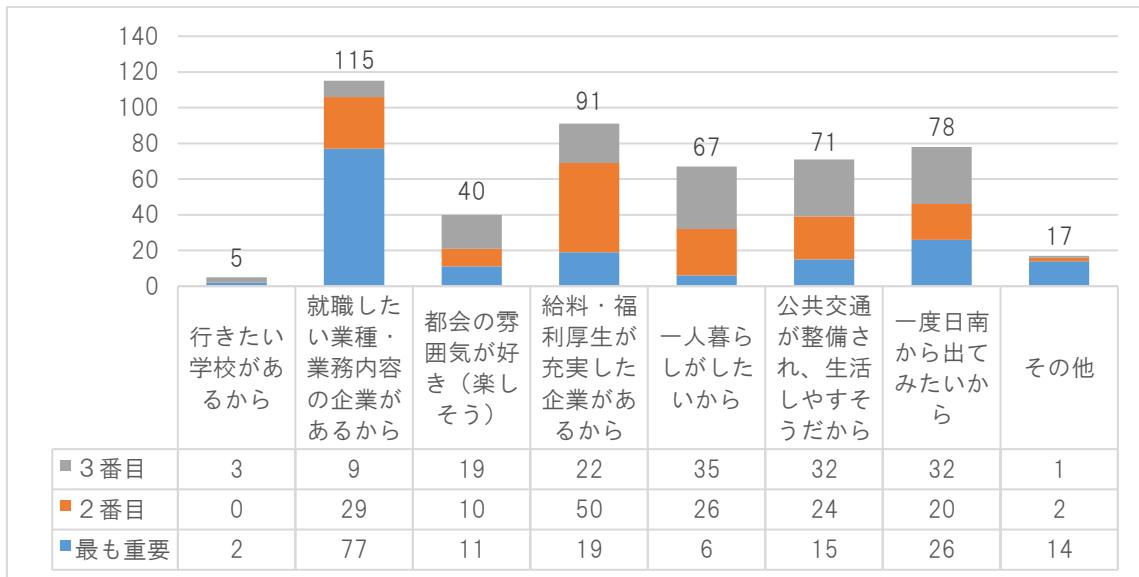


図8 宮崎県内、宮崎県外の地域を希望する理由（就職希望者）



(6) 日南市外への就職又は進学希望者が、将来的に日南に戻る意思（可能性）はあるか

進学希望者は、「ある」が32%、「ない」が62%となっている。

就職希望者は、「ある」が39%、「ない」が55%となっている。

図9 日南に戻る意思があるか（進学）

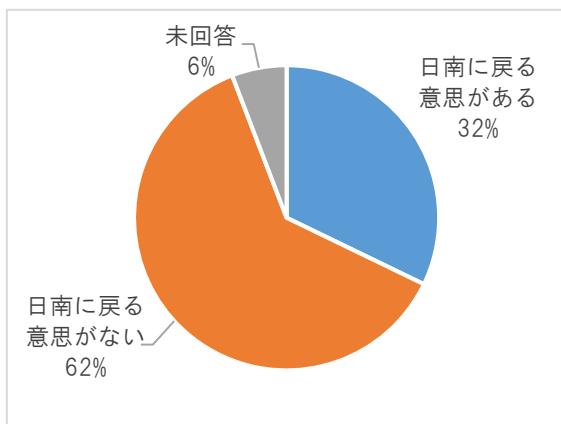
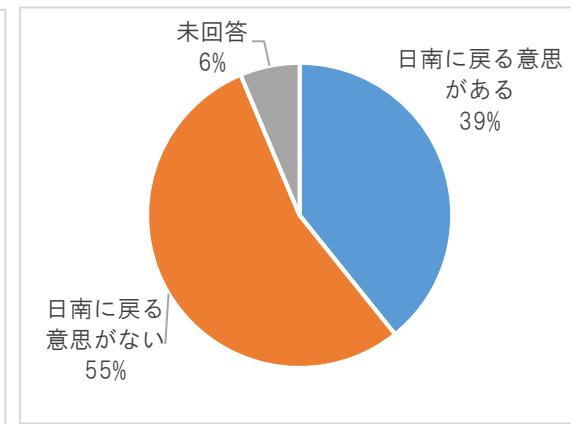


図10 日南に戻る意思があるか（就職）

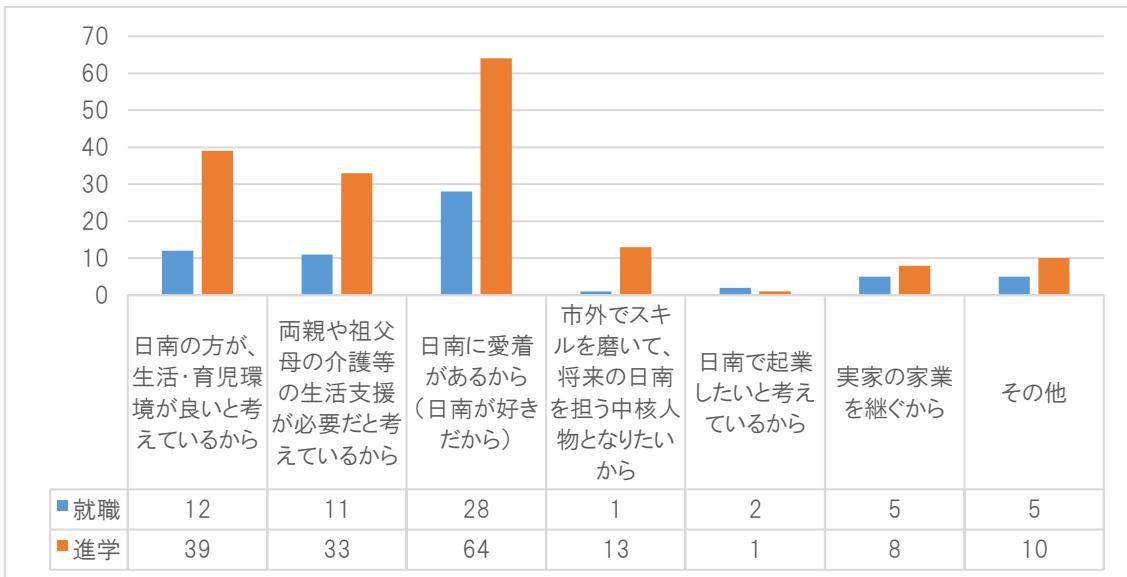


(7) 将来的に日南に戻る意思（可能性）が「ある」を選んだ理由

進学希望者は、「日南に愛着があるから（日南が好きだから）」が64件と最も多く、次いで「日南の方が、生活・育児環境が良いと考えているから」が39件、「両親や祖父母の介護等の生活支援が必要だと考えているから」が33件と続いている。

就職希望者は、「日南に愛着があるから（日南が好きだから）」が28件と最も多く、次いで「日南の方が、生活・育児環境が良いと考えているから」が12件と続いている。

図11 日南に戻る意思がある理由

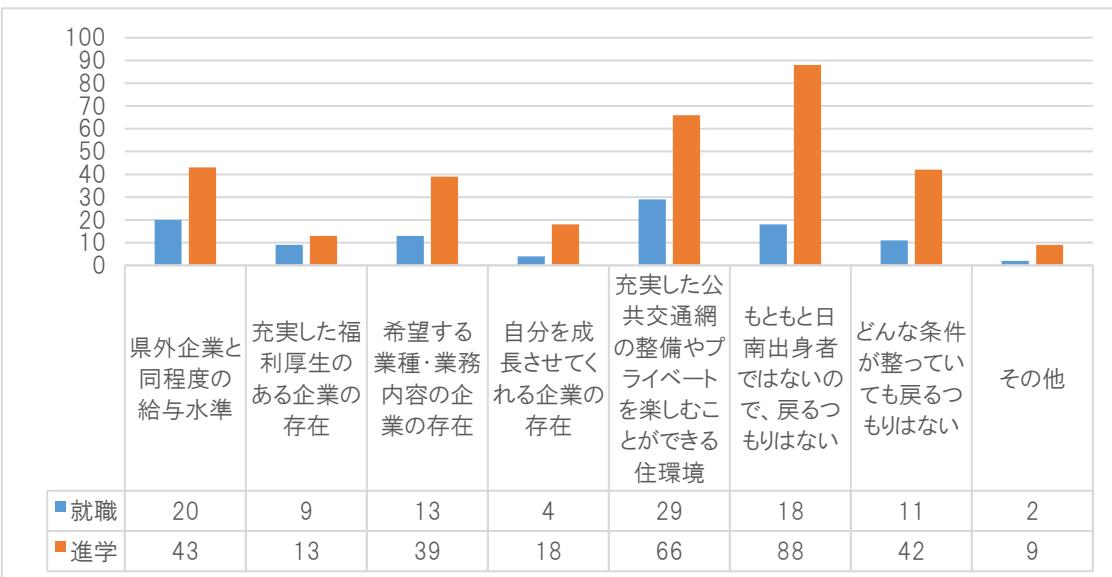


(8) 将来的に日南に戻る意思（可能性）が「ない」を選んだ方は、日南に戻るために何が必要と思うか。

進学希望者は、「もともと日南出身ではないので、戻るつもりはない」が 88 件と最も多く、次いで「充実した公共交通網の整備やプライベートを楽しむことができる住環境」が 66 件と続いている。

就職希望者は、「充実した公共交通網の整備やプライベートを楽しむことができる住環境」が 29 件と最も多く、次いで「県外企業と同程度の給与水準」が 20 件と続いている。なお、「もともと日南出身ではないので、戻るつもりはない」と回答した約 69%が日南学園高校の生徒であった。

図12 日南に戻るために必要なもの



(9) 将来希望する企業の条件 (3つ選択)

進学希望者は、「給料がいい」が664件と最も多く、次いで「安定している」が554件、「休暇が多い」が361件と続いている。

最も重要なものは、「給料がいい」が358件と最も多く、次いで「安定している」が193件、「資格を活かせる・資格を取らせてくれる」が95件と続いている。

就職希望者は、「給料がいい」が253件と最も多く、次いで「安定している」が207件、「休暇が多い」が163件と続いている。

最も重要なものは、「給料がいい」が145件と最も多く、次いで「安定している」が73件、「自分を成長させてくれる」が28件と続いている。

図13 希望する企業の最も重要な条件（進学希望者）

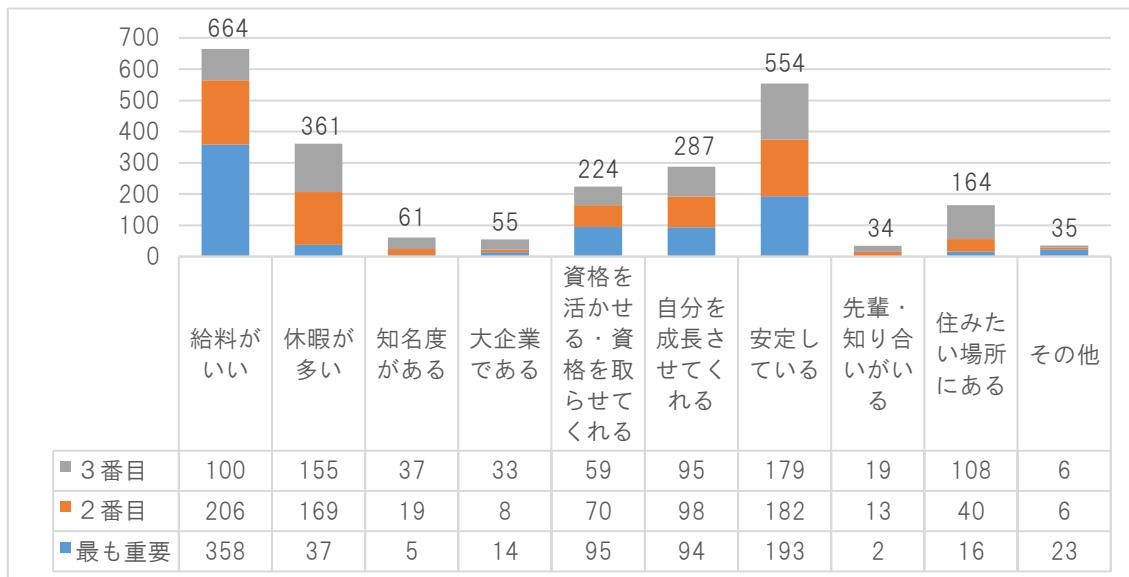
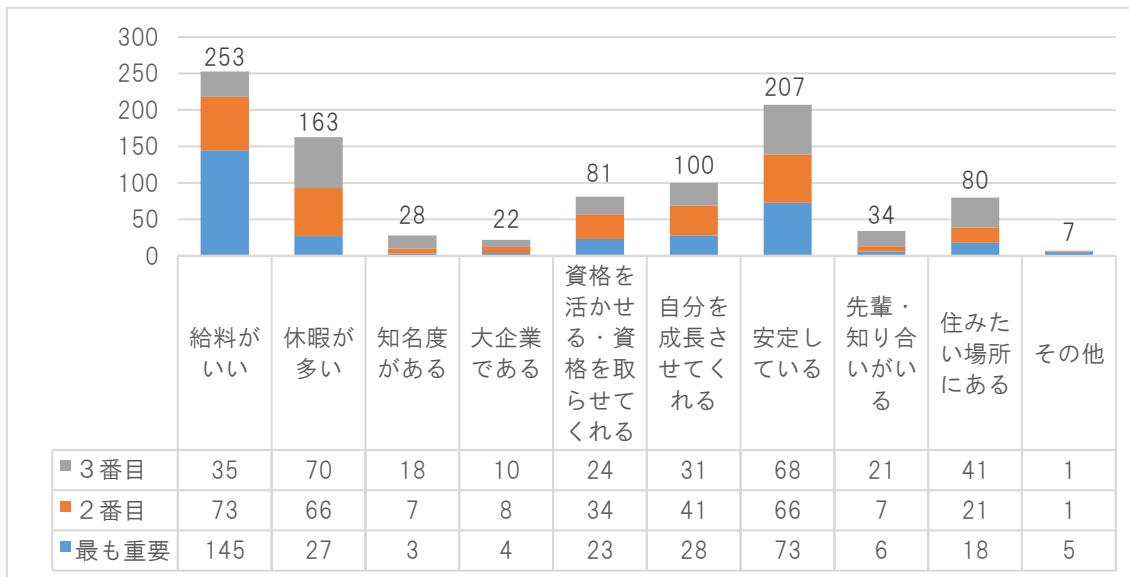


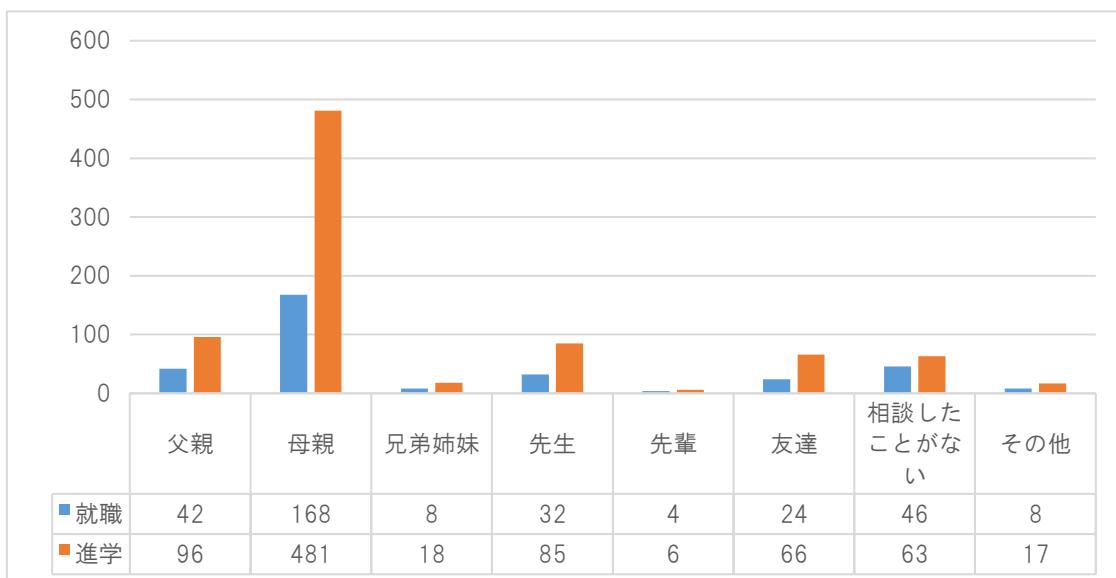
図14 希望する企業の最も重要な条件（就職希望者）



(10) 進路相談を、両親や家族の誰に最も相談したか

進学希望者は、「母親」が481件で最も多く、次いで「父親」が96件と続いている。
就職希望者は、「母親」が168件で最も多く、次いで「相談したことがない」が46件と続いている。

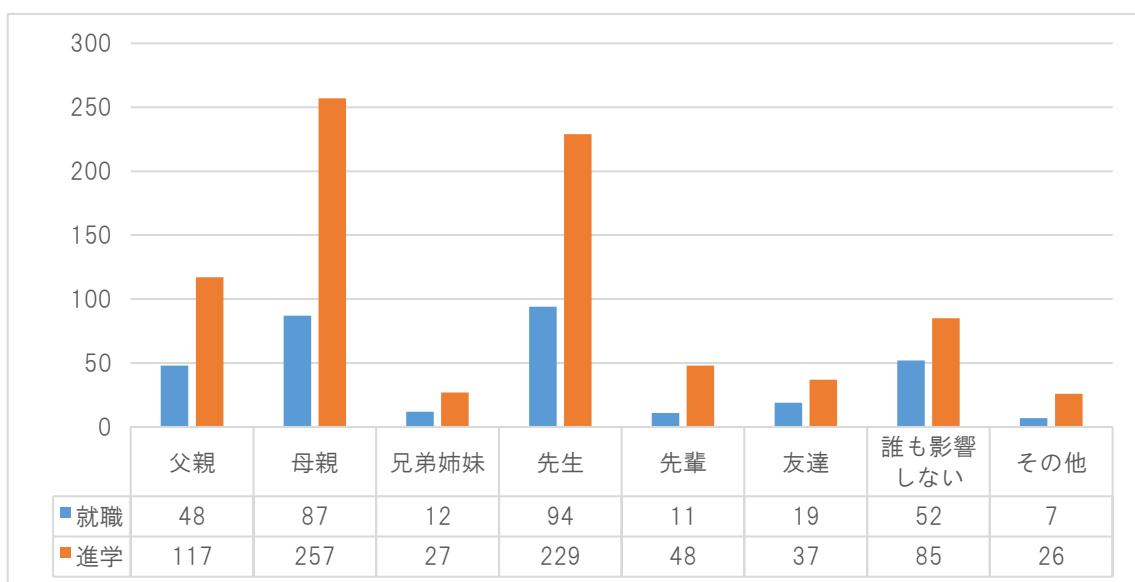
図15 最も進路を相談した親族



(11) 誰からのアドバイスが、あなたの進路に最も影響するか

進学希望者は、「母親」が257件と最も多く、次いで「先生」が229件と続いている。
就職希望者は、「先生」が94件と最も多く、次いで「母親」が87件と続いている。

図16 誰からのアドバイスが進路に影響するのか



(12) 進路を決定するにあたり、役立つと思われる取組（3つ選択）

進学希望者は、「オープンキャンパスへの参加」が593件と最も多く、次いで「担任や進路指導の先生への相談」が463件、「自分自身での情報収集」が313件と続いている。

最も役立つものは、「オープンキャンパスへの参加」が302件と最も多く、次いで「担任や進路指導の先生への相談」が190件と続いている。

就職希望者は、「会社訪問や職場体験への参加」が190件と最も多く、次いで「担任や進路指導の先生への相談」が171件、「自分自身での情報収集」が98件と続いている。

最も役立つものは、「会社訪問や職場体験への参加」が103件と最も多く、次いで「担任や進路指導の先生への相談」が77件と続いている。

図17 今後役に立つ取り組み（進学希望者）

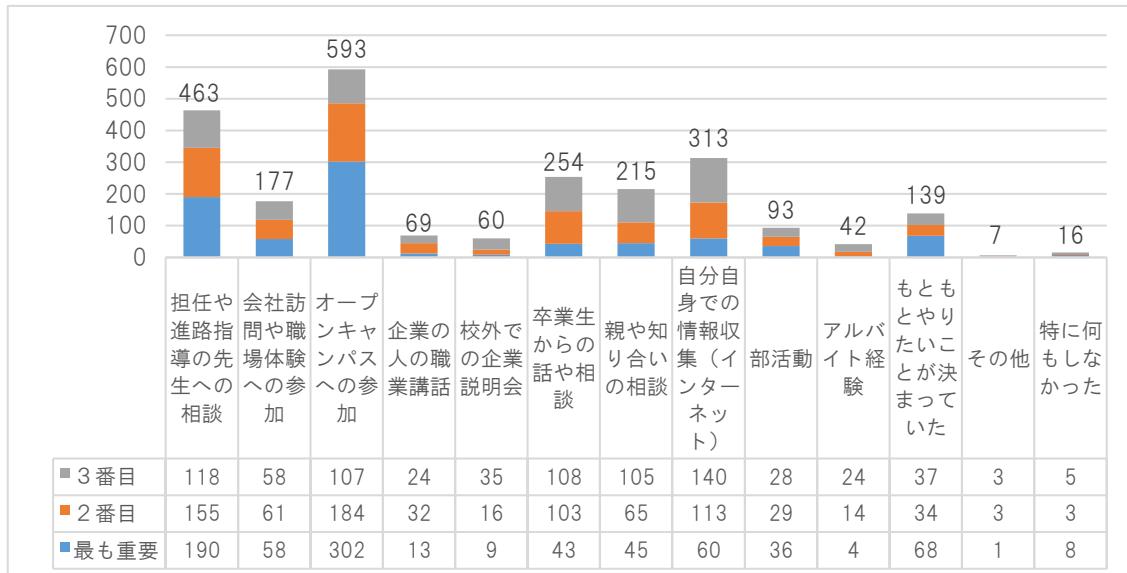


図18 今後役に立つ取り組み（就職希望者）

